

# 平成24年度全国学力・学習状況調査結果の概要

## 北海道・鹿追町の調査結果のポイントについて

鹿追町教育委員会

各学校が、児童生徒の学力水準の維持や向上のために、学力や学習状況を把握・分析し、その成果と課題を検証して改善に役立てる目的で、平成24年4月17日に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。

調査の対象学年や調査の内容は、次のとおりです。

### 平成24年度学力・学習状況調査の概要

#### <対象学年・調査内容>

- ・小学校6年生、中学校3年生
- ①教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
  - ・「知識」に関する問題[国語A、算数・数学A、理科]
  - ・「活用」に関する問題[国語B、算数・数学B、理科]
- ②生活習慣や学習環境に関する質問紙調査
  - ・児童生徒に対する調査
  - ・学校に対する調査

#### ◆成果と今後の取組について

(全道と比較し、)

正答率が特にかかった問題

#### 【成果（国語と算数・数学）】

- ・小学校の国語は、百科事典を読み、目的に応じて中心となる内容を取り出す問題や話し合いの中で司会として集めた情報をとらえ、まとまりごとに整理する問題で正答率が高い。
- ・小学校の算数は小数や分数のひき算、跳び箱の図を見て段の高さを求める問題で正答率が高い。
- ・中学校の国語は、自分の話を理解してもらえよう資料を用いて話したり、物語の内容や登場人物の言動をとらえ考えを書いたりする問題で正答率が高い。
- ・中学校の数学は、図形の合同条件をもとにして論理的に考察したり、一次関数のグラフを見てxとyの関係を式で表したりする問題で正答率が高い。

#### 【こんな学習の充実を（小学校）】

- ・国語Aでは、事実や感想、意見などをそれぞれ一文にまとめた上で、目的や意図に応じて（例えば、文の意味を変えないようにして）、主語と述語との関係や接続語や指示語も適切に使いながら一文に統合するなどの学習の充実を図る。
- ・国語Bでは、新聞や雑誌の特徴

・国語Bでは、相手の発言をもとに、自分の体験や読書の経験などに基づいた具体例をあげるなどして、自分の考えをわかりやすく書くなどの学習の充実を図る。

・数学Aでは、比例の式を満たすx、yの値を座標平面上に表したものがその比例のグラフであることを、また、比例のグラフ上の点のx座標とy座標の値の組はその比例の式を満たすことを確認する学習の充実を図る。

・数学Bでは、特に「数と式」「数量関係」において根拠をもとに証明したり、説明したりする学習の充実を図る。

・理科では「物理領域」で、例えば水の温度上昇は、電力と時間の積である電力量によることを実験を通してグループ内で思考を深める話し合い活動を取り入れ、理解させるような学習の充実を図る。

#### ◆児童・生徒に対する調査（児童生徒質問紙）より◆

□家庭での学習の状況（1日当たり

1時間以上勉強すると回答した児童生徒の割合

全道と比べ、小学校（38・7ポイント）で5・9ポイント、中学校（41・9ポイント）で15・2ポイント低いという結果でした。

□学校の宿題の実施状況（家で学校の宿題をしていますかという問いに対し、「している」「どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合）

全道と比べ、小学校（97ポイント）で3・3ポイント、中学校（88・3ポイント）で3・2ポイント高いという結果でした。

□普段1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDをみたり聞いたりしますかという問いに対し、「3時間以上」と回答した児童生徒の割合

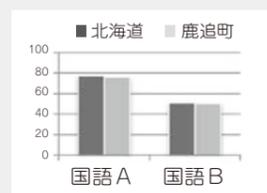
全道と比べ、小学校（51・1ポイント）で3・5ポイント、中学校（46・9ポイント）で10ポイント高いという結果でした。

\*各学校では、結果の分析を行い、「学校改善プラン」に今後の具体策を位置付け、学力向上に向けた取組を進めていきます。

#### ●教科に関する調査結果●

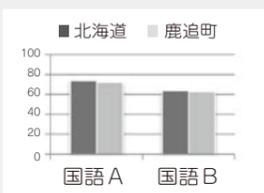
国語Aは平均点がほぼ同様、国語Bは平均点が同様の結果となりました。今後は、国語A・Bともに「書くこと」の力を身に付けていく必要があります。

小学校6年生 国語



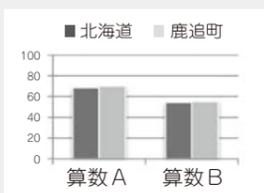
国語Aは平均点がほぼ同様、国語Bは平均点が同様の結果となりました。今後は、国語Aは「言語事項」に関する力を、国語Bでは「書くこと」の力を身に付けていく必要があります。

中学校3年生 国語



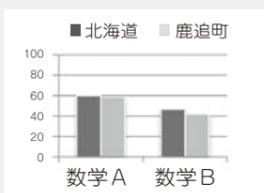
算数Aは平均点が同様、算数Bはほぼ同様の結果となりました。今後は、算数Aは「図形」に関する理解、算数Bは「数と計算」に関する理解の力を身に付けていく必要があります。

小学校6年生 算数



数学Aは平均点がほぼ同様、数学Bは平均点が低い結果となりました。今後は、数学Bの知識や理解したことを活用する力を身に付けていく必要があります。

中学校3年生 数学



小学校理科は平均点がやや高く、中学校理科は平均点がほぼ同様の結果となりました。今後は、特に中学校理科で「物理領域」を中心とした力を身に付けていく必要があります。

理科

